

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：ベネッセ 東戸塚保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：角田 紀美江	定員（利用人数）： 60名（58名）
所在地：〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町 554-24	
TEL：045-828-0771	
ホームページ： https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 2019年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ベネッセスタイルケア こども・子育て支援カンパニー		
職員数	常勤職員： 17名	非常勤職員： 10名
専門職員	保育士 18名	看護師 1名
	管理栄養士 2名	調理師 3名
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室4室、調理室1室、職員休憩室1室、事務室兼医務室1室、相談室1室	エレベーター、屋上園庭

③理念・基本方針

【基本理念】

『その子らしく伸びていく。』

【保育理念】

「よりよく生きる力（Benesse）の基礎を育てる」
いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます。

【保育の基本方針】

- ①子どもの『個性と人格を尊重』し、主体性を育てます
- ②自然な生活の営みの中で、子どもが「安定感・安心感・落ち着き」を持てる室内環境をつくります
- ③深い信頼関係に根ざした「豊かな人とのかかわり」を重視します
- ④身の回りの「社会・自然を通しての学び」を大切にします

【保育目標】

- ①自分で考えすすんで行動する子ども
自分からすすんで物事に取り組む態度をもち、意欲をもって最後までがんばる子ども
- ②友だちと楽しく遊ぶ子ども
さまざまな人と関わることの喜びを知りながら、楽しく遊べる子ども
- ③感性豊かな子ども
さまざまな発見と感動を味わいながら、自分らしさを表現できる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

保育所保育指針に基づき養護・教育を提供しています。
乳児クラスは、学年別のクラス編成を基本とし、特定の保育者との信頼関係を大切にし、子どもが安心して信頼できる大人との関係を作り、一人ひとりの子どもが安定感をもって園生活を過ごせるようにしています。

3歳児以上は、異年齢でのクラス編成を基本とし、年齢の枠を超えた子ども同士の関わりを通して、思いやり、協力する楽しさや、一人ひとりの個性を認め合い、自分らしさを発揮できるようにしています。子どもたちが保育園を自分の居場所だと感じ、安心できるよう落ち着いた空間作りを心がけるとともに、兄弟姉妹が少ない最近の家族構成では体験しにくいことを、異年齢保育を通して経験したり、地域や文化を知る機会を提供し、子ども主体の遊びを通して、学びに向かう力を育む保育を実践しています。なお、『その子らしく、伸びていく。』を支援するために、保育実践の中で大事にしている事を「その子の宇宙が広がり続けるためのことば」として、40のことばにまとめています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月12日(契約日)～2022年3月30日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回

⑥総評

◆特に評価の高い点

1、保育士に優しく受け止めてもらい、子どもたちはその子らしく園生活を楽しんでいます

園は、家庭的な雰囲気の中で、子どもが安心し、自分らしさを発揮できるように支援しています。

保育士は、子どもの表情や仕草、言葉などから子どもの気持ちを汲み取って寄り添い、一つひとつの発信に優しく応え、言語化して確かめ、子どもが自分の思いを言葉で表現できるように働きかけています。言葉で自分の思いを伝えることが苦手な子どもには、絵カードやジェスチャー、短い単語などその子どもに合わせた方法を工夫し、子どもが言葉を理解し、自分の思いを表出できるように支援しています。保育士に優しく受け止めてもらい、子どもたちは自分の思いをのびのびと身体や言葉で表現しています。

保育室には、子どもの目線に合わせておもちゃを置き、コーナーなども設定されていて、子どもが自分から「やりたい」と思い、落ち着いて遊べるように環境構成されています。観察時にも、1歳児が段ボール箱を車庫、自分たちを車に見立ててバックで入る遊びをしたり、幼児が段ボールで自由に工作したりとそれぞれが好きな遊びをして楽しんでいる様子を見ることができました。遊びに上手く入れない子どもには、保育士が個別対応し、一緒に絵本を読んだり、折り紙をするなどし、子どもが好きな遊びを見つけられるように支援しています。

保育士に、一人ひとりの思いを優しく受け止めてもらい、子どもたちはのびのびと園生活を過ごしています。

2、子どもの様子を全職員で共有し、連携して保育しています

日々の申し送りや月1回のクラス会議、職員会議等で、子どもや保護者の状況について話し合っ振り返りをし、より良い保育の実践に向けて話し合い、連携して保育しています。クラスだけでなく関係する専門職も参加して、ケース検討することで、皆で連携し、同じ対応ができるようにしています。

職員研修にも力をいれ、リモートを活用して外部研修に全員が受けられるように調整するとともに、遊びなどの園内研修を行い、職員が保育の幅を広げ、保育を楽しみ、モチベーションを高められるようにしています。

このような取り組みを通し、開園後3年目を迎え、園の体制が整ってきています。

3、保護者との関係作りに力を入れています

園は、保護者が園の取り組みを理解し、子どもの成長とともに喜べるよう関係作りに力を入れています。

全園児連絡帳を用いるとともに、朝夕の送迎時には子どもの園での姿を伝えてコミュニケーションを取り、保護者の相談にのっています。必要に応じて個人面談を実施し、内容によっては園長や主任が参加して、アドバイスや情報提供をし、保護者が安心して子育てができるように支援しています。

園便りやクラス便りを発行し、保護者に情報提供するとともに、日々の保育の様子を写真にとってドキュメンテーションやエピソード記録で伝えています。コロナ禍のため、保護者参加行事の実施が難しいですが、プレイデイは幼児のみで行い、保護者参加は5歳児のみとし、3・4歳児は動画を配信するなど工夫しています。クリスマスにはキャンドルナイトとして屋上をライトアップし、お迎え時に親子で楽しんでもらい好評でした。

このような取り組みを通して、コロナ禍の開園であるにもかかわらず、保護者の理解が深まってきていることが、満足度の高さからもうかがえます。

◆改善を求められる点

1、園としての事業計画を策定し、職員に周知していくことが期待されます

法人では、中長期的なビジョンを明確にした事業計画を策定していますが、園としての事業計画は策定されてなく、職員への周知もしていません。園では、年度の運営計画を策定しているものの、内容は保育に限られています。今後は、職員も参画して運営面も含めた園としての事業計画を策定し、職員、保護者に周知していくことが期待されます。

◆さらなる取り組みが期待される点

1. 職員同士の保育観をすりあわせ、園の特色を生かした保育を実践されることが期待されます

日々の保育においては、職員は子どもや保護者のケースについて密に話し合い、困難事例等にも連携して取り組める体制を築いています。ただし、コロナ禍での開園という時間の制約もあり、それぞれの保育観を掘り下げて話し合い、子どもの個性や良さをどう育むかなど、細かな点まで目指す方向性を共有するまでには至ってなく課題となっています。今後も、職員間の保育観のすりあわせをし、目指す方向性を統一していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審の機会をいただき有難うございました。職員が一体感を持って自分たちの保育を振り返ることができたことは、開園3年目の園にとって有意義な時間であったと感じております。

私たちが保育で最も大切にしている「子ども自身が大切にされていると感じる時間を保証する」という点を、評価いただけたことが、何より子どもたちに向き合う励みとなりました。驕ることなく、子どもの思いを様々な観点から受け止めていきたいと思えます。

一人ひとりの子どもを尊重し、その思いや心の声を聴きながら、子どもが「やってみたい」「やってみよう」とする気持ちを実現し、次のやってみたいに繋げたいと思っています。

今回の受審で得た経験をいかし、職員間で話し合いながら、保育感のすり合わせを行い意図ある思いのある保育が展開できるように保育のイメージの共有を積み重ねたいと思えます。また、コロナ禍で規制のある行事や地域支援についても状況を判断しながら、家庭や地域との繋がりを深められるようにしたいと思えます。

自分たちで保育の振り返りを深められたこと、保育並びに社会福祉に対する意識向上の観点を持てたことは、今後も保育に携わる私たちにとって主体的な学びの時間になりました。

最後になりましたが、お忙しい中、アンケートにご協力いただきました保護者の皆様にも感謝申し上げます。いただいたご意見を明日の保育に繋ぐことができるように職員一同心を合わせ努めていきたいと思えます。

ベネッセ 東戸塚保育園 職員一同

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり